

2024年度 事業計画

特定非営利活動法人 相模原ボランティア協会

《事業計画概要》

2024年度は、4年ぶりに新型コロナの制限が無い状況でスタートを切る1年となります。先ず、4月の「相模原市民桜まつり」は福祉バザーとパレードへの参加、6月には「交流ボウリング大会」、10月と11月に「ほかほかふれあいフェスタ2024」「障害者週間キャンペーン」を開催します。

これからのボランティア協会は、従来の事業が社会のニーズに合った活動となっているか見直し、社会のニーズに応える活動の発掘・展開が求められると考えています。そのためには社会福祉協議会との協働関係を深めて参ります。協会の活動継続にはボランティアの拡大が最重要と考え「ボランティア養成講座」の開催に力を入れていきます。

また、「広報事業」は情報発信という重要な役割を担っています。ボランティアの必要性や重要性を訴えていきます。個々の事業としては、「HC事業」、「傾聴事業」、「映像制作事業」は、引き続き課題に挑戦していきます。

「財源問題」については寄付・募金促進、イベントでのバザーの展開、協賛団体の獲得や切手グループからの寄付など重要な課題です。

さらに2023年度実施したボランティア協会の今後の在り方検討会議での「持続可能なボランティア協会を考える」を更に発展させ協会の将来像の構築に努めて参ります。

相模原ボランティア協会は、相模原市や市民のために貢献する協会として頑張っていきたいと思っておりますので会員の皆様の絶大なるご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

《事業内容》

1. 高齢者、障がい者への援助活動

(1) ハンディキャブ運行事業

「福祉有償運送」の登録団体である当協会は、福祉車両2台およびセダン型による単独では外出困難な方のための福祉移送援助事業を行っていきます。新型コロナウイルスの感染が収まっていない現状を踏まえ、感染防止対策の徹底を行った上での活動を進めます。また、稼働率の改善や利用料金の改訂などによる増収策の検討を進めて参ります。なお、引き続き「かながわ福祉移動サービスネットワーク」に加盟します。また定期的に運転者研修会を開催し、安全運転の向上に努めます。

- ・実施時期 年間を通して実施します。
- ・実施場所 相模原市内および周辺地域（相模原市役所を起点として直線30km以内）
- ・従事者 当協会会員 年間総数は延べ約1,000名を見込みます。
- ・対象者 市内（旧市域）の障がい者、高齢者、延べ1,400名を見込みます。
- ・支出見込 交通費、燃料費、車両維持費、車両減価償却費、活動旅費、駐車場賃借料等

合計 **2,671,000** 円

(2) 高齢者への傾聴ボランティア活動

2014年から始めた居宅訪問型の高齢者の傾聴ボランティア活動ですが、新型コロナ感染防止対策をしながらの活動となります。傾聴活動の利用者の拡大のために関連する各事業所などへのPRを進めます。また、新たな活動参加者への配慮を行い、活動する仲間の増強を図ります。

また、傾聴委員会としては、活動の連絡調整を行い、課題があれば改善を進めます。

- ・実施時期 年間を通じ実施します。

- ・対象者 独り暮らしや種々の状況のために孤立しがちな方を対象とします。
- ・実施場所 原則として居宅へ訪問します。
- ・従事者 当協会員を派遣します。
- ・支出見込 交通費、研修費他として **162,000 円**

(3) ボランティア団体とのネットワークづくりと交流事業等

(イ) ほかほかふれあいフェスタ2024の開催

障がい者、ボランティア、市民との交流行事「ほかほかふれあいフェスタ2024」を開催し、相互理解の機会とします。(実行委員会参加方式)

- ・実施時期 10月12日(土)および11月30日(土)(障害者週間キャンペーン)の日程で実施します。あじさい会館ロビーでの参加団体紹介展示は10月7日～12日(予定)。
- ・実施場所 10月はあじさい会館とウェルネスさがみはら前広場で、11月はサンデッキ相模大野で開催予定です。
- ・従事者 障がい者などの当事者団体との実行委員会形式とし、さらに当日参加のボランティアを募る方式です。当協会員の参加は20名を予定します。又、相模原市、市教育委員会、市社会福祉協議会、市社会福祉事業団の後援を予定します。
- ・対象者 市内の障がい児者、一般市民を対象とし各2,000名の当日参加を見込みます。
- ・支出見込 実行委員会形式のため、分担金方式となります。当協会は **50,000 円**の支出を予定します。

(ロ) 障がい児者とのボウリング大会

障がい児者との交流ボウリング大会(2023年度より名称変更)を開催します。(理事会、実行委員会)

- ・実施時期 6月に開催します。
- ・実施場所 市内の相模原パークレーンズ様のご厚意によりレーンの無償提供を予定します。
- ・従事者 ボランティアや当事者団体との実行委員会形式とし、当協会の参加は約10名を予定します。
- ・対象者 障がい児者、家族、付き添い、ボランティアで約80名を予定します。
- ・支出見込 **46,000 円**

(ハ) その他援助事業

相模原市社会福祉協議会ボランティアセンターと協働して、小地域では対応が難しい障がい者、高齢者等のニーズの発見と対応に努めるとともに、外出援助、訓練介助、保育、行事援助などのボランティア派遣を行います。また、ボランティア活動機会の増加のために“いるかバンク制度”の活用を行います。

家具転倒防止に関する活動については、新しくボランティアを確保し、態勢を整えて活動する方向で検討します。

さらに、当協会では“人との交わりが苦手な若者”を受け入れ、社会体験や人との交流体験の場を提供する就労支援や高齢者を対象とした「住まい探しサポート事業」に協力してきました。今年度もこれらの活動を継続してまいります。

- ・実施時期 年間を通して実施します。
- ・対象者 障がい者、高齢者、就労困難な若者
- ・実施場所 相模原市及び周辺地域

- ・実施者 当協会の会員を派遣します。

2. ボランティア養成に関する活動

当協会の基本精神である「市民による市民のための地域福祉向上」のために、ともに取り組む仲間づくりに役立てることを目的とします。従って、当協会の事業推進に直接役立つ講座はもとより、広く市民の皆様にお知らせしたいこと、ボランティア活動について関心を持っていただけるような内容を目指します。

[ボランティア養成講座]

- ・実施時期 2024年夏頃を予定しています
- ・実施場所 あじさい会館および周辺の施設を予定します。
- ・従事者 講座検討委員会として、市内のボランティア団体の協力を得ながら、各講座を開催します。
- ・対象者 主として相模原市に在住、在勤の方を対象とし、50名程度の参加を見込みます。
- ・支出見込 193,000円

3. 情報発信に係る事業

(1) ぼらんていあ通信の発行（広報委員会ぼら通部会）

当協会の広報誌としての役目を担う「ぼらんていあ通信」を毎月発行します。ぼらんていあ通信は協会活動の予告や報告を掲載するほか、当協会や地域で活動しているボランティア団体の情報、各種ボランティアグループの状況をできるだけ取り上げ、協会員以外の団体・機関でも閲覧いただき、身近なボランティア活動の広報誌として活用できる楽しいものにします。

- ・実施時期 当協会の機関紙として毎月発行します。
- ・配布先 会員への郵送を原則としますが、市内の学校、公民館、福祉施設、協賛企業などにも無料で配布します。また、ホームページにも掲載します。
- ・従事者 1回の編集につき、それぞれ担当者数人が関わる予定です。
- ・支出見込 ぼらんていあ通信発行費として 384,000円

(2) ホームページの公開（広報委員会情報部会）

協会ホームページの更新を随時行い、市民への情報発信に努めます。また、事務局と会員間および会員相互間の通信手段として活用できるよう内容充実に努めます。

- ・実施時期 当協会のホームページを逐次充実させ、内容の更新を図っていきます。
- ・従事者 更新担当者数名が関与します。
- ・対象者 ホームページ閲覧者であり、月に1,000人規模を見込んでいます。
- ・支出見込 回線サーバ使用料、メンテナンス費用として 20,000円

(3) 外部に発信できるコンテンツの制作

2021年度から開始したこの活動は、新型コロナ禍においてもリモートでの利用も可能であり、情報交換、交流、啓発、養成に役立つものと考え、推進していきます。さらにネットワークを利用した発信にも適用可能であり、様々な利用方法を広く検討しながら進めていきます。当面は、個人にスポットを当てたインタビュー動画などを発信すべく準備を進めます。また、必要に応じてイベントなどへの対応を行います。

4. 相模原市、市社会福祉協議会等の事業への参加およびボランティア団体との交流

(1) 市民桜まつりへの参加

2024年度の相模原市民桜まつりは、パレード・福祉バザーへの参加を予定しています。

・支出見込 年間 15,000 円

(2) 市社会福祉協議会への加盟

市社会福祉協議会へは引き続き加盟します。

・支出見込 年間 5,000 円

(3) 「東林ふるさとまつり」等の地域福祉祭りへの参加

市社協南ボランティアセンターの開催するイベントなどに参加します。

・実施場所 東林公民館、南区地域福祉交流ラウンジなど

(4) 相模原災害ボランティアネットワーク（SSVN）への参加

当該団体の運営委員として、行政他地域関連、防災訓練等に係わっています。

・実施場所 あじさい会館（毎月定例会及び役員会開催）、その他

・支払見込 年会費 3,000 円

5. その他活動

(1) 法人運営、法人運営事務及びHC運行調整事務のための活動

当協会の運営が円滑に進められるよう理事会、各委員会などを定期的に行います。事務局においては法人運営のための庶務部門とHC調整部門があります。これからも事務局員の研修など事務局機能の改善・強化を図ります。

・支出見込 総会費、委員会交通費、研修講習費、事務局運営費として 715,000 円

(2) 財源確保のための活動

認定NPO法人制度による税制の優遇措置のPRに努めるほか、賛助会員の募集を行い、活動財源の確保を目指します。

① 認定NPO法人の税制優遇措置制度を活用した募金活動

② 地区でのイベントなどの機会をとらえてのバザー、模擬店出店など

③ 使用済み切手の収集

④ イオングループ主催の幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加

⑤ イベント開催における協力依頼

・収入予定 750,000 円

(3) 会員交流会

会員相互の交流やコミュニケーションの活性化を目標に、親睦会や会員向けの研修など意見交換の機会を設けます。

・支出見込 10,000 円